

Arts and Museum Events in New Taipei City

2025
11月號

新北市藝遊
2025 NEW TAIPEI CITY
FINE ARTS EXHIBITION

2025
10.30
12.07

2025
新北市美展

主辦單位 | Organizer
新北市政府
新北市政府
新北市政府

協辦單位 | Implementer
新北市政府
新北市政府
新北市政府

展覽地點：220新北市板橋區莊敬路62號
新北市民藝中心 | 第一展覽室 | 第二展覽室 | 第三展覽室

休館：11/03-12/01

日文版

QR Code

カバーストーリー



2025年新北美展：芸術は交わり、想像力は無限に

新北市政府は次世代の芸術人材を養成し、創作の潜在力を激発すべく、毎年盛大に「新北市美術展」を開催しています。2025年には第37回を迎える本展は芸術愛好家がインスピレーションを交わり、美意識体験を深める重要なプラットフォームとなっています。展覧会は114年（2025年）10月30日より12月7日まで新北市藝文中心にて盛大に開催されます。ぜひ現地に足を運んで頂き、この無限の創造性に満ちた芸術の饗宴をご堪能ください。

一般組：伝統及び革新の融合

水墨部門 第1位 張耀慶《牽作伙逗陣行（手を取り合って共に歩む）》
張耀慶は「一河兩岸」という構図を用い、美しい柔らかな印象を持つメソチント版画風の繊細な黒白線描を用い、淡水河両沿いの繁華な街並み及び整然と並ぶ漁船を描き出しています。画面は階調が明瞭で物語性に溢れ、恰も現代版の『清明上河図』を彷彿とさせます。画面は張力及び躍動感を兼ね備え、斬新さを感じられ、正に現代水墨画の傑作と呼ぶに相応しいものです。

書法部門 第1位 林志宏 王維《酌酒與裴迪》（裴迪（はいてい）に酒を酌ぐ）
林志宏の草書作品は宋・明時代の草書法を融合させたもので、筆致は流麗で自由自在、筆圧の抑揚及び頓挫に変化に富み、字形は斜体及び直体が相依り、構図にはリズム感が充分満ちており、渾然一体となった書法の美を体現した完成度の高い秀作と呼ぶに相応しいものです。

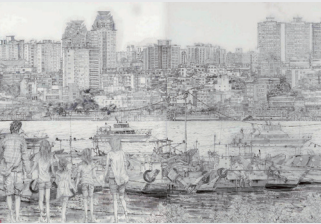
膠彩部門 第1位 賴楚穎《夢外之地》
《夢の彼方》賴楚穎は同系色による色暗調美学を駆使し、静謐な雰囲気醸し出し、鹿角シダの垂れ下がる姿をモチーフに、緩やかに降り注ぐ空間感及び内に秘めた重厚な力を精緻な筆致の重ねによって表現しています。画面の中ではエイが暗青色の鉱物顔料によって構築された雄大な情景を穿つように泳ぎ、動と静が交錯する様子は深い思索を促させます。本年度の膠彩部門を制したに相応しい作品です。

篆刻部門 第1位 林思好《思好印存》
林思好は篆刻を精神的な媒介として用い、山水風景・仏像等の図像を印文の側款デザ

インに融合させ、朱印及び墨色を組み合わせることにより、視覚的な階調を豊かにしています。その作品は多面体の側款を採用し、特に縦型仏像の断面を横向きに刻み、四面に拓本を連ね、北朝仏像群を構成し、精緻な工芸性及び多面的なスタイルを表現しており、その構図には匠の心意気を感じさせます。

立体創作部門 第1位 葉佳寧《Non space》
葉佳寧の吊り下げ式の作品は金属・陶磁器・プラスチック等の素材を用い、瓜類・食材を造形し、その「負の空間」を探索しています。女性が日常的に食材を扱う行為の観察するところより発想を得て、苦瓜（ゴーヤ）及びパパイア等の中空構造を可視化し、垂直に空間中に懸吊することにより、女性の家庭労働における苦労を暗喩しつつ、視覚的な衝撃及び深い寓意を兼ね備えています。青春組：新世代の創意の火花

水墨部門 第1位 丁品云《被遺忘の時間》（忘却された時間）
丁品云は伝統的な水墨画を基底としつつ、新たな概念及び実験的思考を融合させ、「濡筆（ウェット・ブラシ）」の筆遣い及びコラージュ的な構図を用い、豊かな階調感を持つ画面を創出し、作品は一見淡泊に見えとて、実は内に複雑な感情を秘め、若い世代ならではの独特な視点及び深い潜在力を示しています。



2025年新北美展：芸術は交わり、想像力は無限に

🕒 即日より12/07
📍 新北市藝文センター
☎ 02-2253-4417#122
🌐 www.artcenter.ntpc.gov.tw



書法部門 第1位 蔡善宇 舒嶽祥《寄正仲》
蔡善宇の行草書は流れるような自然な筆致、字形の大小・軽重が適切に調和されており、初歩ながらしっかりとした書写力が備わっていることを示しています。本作ではマラカイトグリーンの中国画顔料を墨汁の代わりに使用し、下地に墨を染み込ませ、石碑の着色を模した古拙の趣を醸し出し、印象に残るものとなっています。

芸術の世界は広く、毎年開催される新北市美術展は思想と創造力が交わる場です。本年度の受賞作品は、「一般組」では伝統技法の深みを、「青春組」では若い世代の活力と革新を示しています。新北市芸術センターにて、世代を超えた芸術の共鳴をぜひご体感ください。



編集者の選択



親指世代：クリックして開く

「新北市立美術館・学校プロジェクト」は2019年の新北市美術館準備期間に始動し、芸術及び教育コミュニティの交流及び協働を促進し、新北市内の各学校と緊密なパートナーシップを積極的に築くことを目的としています。本プロジェクトは創作者と教師が協力し、共同で授業計画を設計することにより、創作活動を教育現場に取り入れることを推奨しています。又、学校の正規課程の外に、多様な学びの方法を実験し、生徒の芸術的潜在力及び感性を引き出すことを目指しています。「親指世代（Thumb Generation）」という言葉はフランスの哲学者ミシェル・セール（Michel Serres）の著書

『Petite Poucette（小さな親指姫）』より着想を得ています。セールは新しい世代がスマートフォン及びインターネットを通じ、「親指」で世界と関わりながら、日常生活のみならず知識及び学びのあり方そのものを再構築していると観察して認識しました。こちらでの「クリック」は単なる画面操作を超え、子供達が自らの故郷の歴史との新たな繋がりと理解を象徴しています。

この展覧会は子供達の作品と情景空間を織り交ぜた物語の場を生み出し、観客をその場へと誘い込み、共に未来へと向かう新たな物語の旅を共に紡いで出して頂けます。



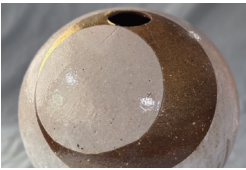
🕒 即日より2026/03/15
📍 新北市美術館
☎ 02-2679-6088
🌐 www.reurl.cc/MzE38X



志野焼：日本の心 — 小木曾教彦陶芸展

自然と陶芸の共生を探究し、台湾独自の志野焼を創り出すことを目指しています。日本出身のベテラン陶芸家である小木曾教彦氏は大自然には豊かな宝が秘められていると考え、身近にある土を以って創作することを好み、又山林の資源を窯焚き燃料として活用しており、陶芸家の巧みな手により、自然の素材が具象的な形へと変貌し、日本文化の精神的な信念を継承しています。志野焼は日本・美濃焼の代表的な様式の一つです。小木曾氏は60年以上に亘り、陶芸の道に携わり、近年は志野焼の創作に専念しています。彼は「松の針葉」を素焼きの燃料とし、建築現場で得た土粉を志野焼の顔料に用い、吉祥の象徴である「折れ松葉」の文様を茶碗に描いて

います。松の針葉は常緑であり、例え折れて枯れても二枚の葉は離れないものです。小木曾氏は陶芸を介し、自然の形態を変容させ、感情を伝えながら、台湾の人々と共に学び合い、台湾の土地に刻まれた記憶及び時間の痕跡を創り出したいと願っています。静的な展示に加え、小木曾教彦氏は盛大な日本茶道によるオープニング茶会パフォーマンスを企画しています。茶器を介した持て成しを通じ、日本茶道文化の美学により、自然及び人との関わりに対する敬意を表現しています。展覧会期間中、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



🕒 即日より11/30
📍 新北市立鶯歌陶磁博物館
☎ 02-8677-2727#831,832
🌐 www.ceramics.ntpc.gov.tw



新北市美術館



- 🕒 月曜休館 | 火曜～金曜10:00～17:30、土曜～日曜 10:00～18:00
- 💰 NT\$100
- ☎ 02-2679-6088
- 📍 鶯歌区館前路 300 號
- 🚉 台湾鉄道→鉄道「鶯歌駅」にて下車、文化路に沿って館前路に出てから道沿いを真っすぐに歩いていくと到着。

新北市立鶯歌陶磁博物館



- 🕒 月曜～金曜09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-8677-2727
- 📍 新北市鶯歌区文化路 200 号
- 🚉 台湾鉄道→台湾鉄道の区間車（各駅停車）に乗りして「鶯歌駅」にて下車。文化路の出口を出て徒歩10分。

📅 11/28-2026/04/06
2025年台湾陶芸賞

新北市立十三行博物館



- 🕒 09:30-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2619-1313
- 📍 新北市八里区博物館路 200 号
- 🚉 MRT「関渡駅」→紅13番バス→「十三行博物館」バス停。または、MRT「淡水駅」→渡し船→紅 22 番バス、704 番バス→「八里行政中心（十三行博物館）」バス停。

新北市立黄金博物館



- 🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館、祝日の場合は平常通り開館し、翌日が休館です）
- 💰 NT\$80 ☎ 02-2496-2800
- 📍 新北市瑞芳区金光路8号
- 🚉 台北—金瓜石：MRT「忠孝復興駅」2番出口を出て、九份経由の1062番バスに乗り、「金瓜石（黄金博物館）」にて下車。

📅 即日起2026/09/20まで
「石を語る—石の来歴と物語」特別展

新北市立淡水古蹟博物館



- 🕒 月曜～金曜09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2623-1001
- 📍 新北市淡水区中正路 28 巷 1 号
- 🚉 MRT「淡水駅（終着駅）」に到着したら紅26番、836番のバスに乗り換え、紅毛城まで。

📅 即日起
淡水古蹟マイクロ博物館

新北市坪林茶業博物館



- 🕒 月曜～金曜09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-17:30（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2665-6035
- 📍 新北市坪林区水德里水鹭湊坑 19-1 号
- 🚉 MRT「新店駅」にて下車し、923番または緑12番（G12）の新店バスに乗り換え、「坪林高中」バス停にて下車、徒歩約5分で到着。

📅 即日起 2026/11/11まで
茶と食の文化特別展

国定古跡林本源園邸



- 🕒 09:00-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 NT\$80
- ☎ 02-2965-3061#23
- 📍 新北市板橋区西門街 9 号
- 🚉 MRT→板南線（ブルーライン）「府中駅」にて下車、1番出口から徒歩約8分。

府中 15



- 🕒 09:30-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2968-3600#211
- 📍 新北市板橋区府中路 15 号
- 🚉 MRT→5番線（板南線）に乗りし、「府中駅」にて下車。2番出口を出て、徒歩約40mで到着。もしくは1番出口を右へ進み、横断歩道を渡って直進。約3分で到着。

板橋 435 芸文特区



- 🕒 月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2969-0366
- 📍 新北市板橋区中正路 435 号
- 🚉 MRT→板南線（ブルーライン）「板橋駅」にて下車。 310、307、810、857、786番バスに乗り換え、「板橋國中（435芸文特区）」にて下車。

新北市芸文センター



- 🕒 09:00-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2253-4417
- 📍 新北市板橋区莊敬路 62 号
- 🚉 MRT→板南線（ブルーライン）「新埔駅」にて下車。4番出口を出て右折し、横断歩道を渡り、文化路二段182巷まで直進し、右折。再び直進し、約3分で到着。

新莊文化芸術センター



- 🕒 09:00-17:00（第一月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2276-0182#101
- 📍 新北市新莊区中平路 133 号
- 🚉 MRT→板南線に乗り、「新埔駅」にて下車。805番バスに乗り換え、「新泰游泳池」バス停にて下車。または5番出口を出て藍18番バスに乗り換え、「新莊高中」バス停にて下車。

新北市美麗永安芸文センター



- 🕒 09:00-17:00（毎月第一の月曜日休館）
- 💰 Free
- ☎ 02-2929-8830
- 📍 新北市中和区中和路390号2階
- 🚉 MRTオレンジラインに乗って、「永安市場駅」で降ります。

樹林芸文センター



- 🕒 演芸ホール開放時間：開演60分よりチケット提示でロビーに入場可能。客席開場は開演30分前となります。
- ☎ 02-2682-0035
- 📍 新北市樹林区樹新路 40-8 号
- 🚉 鉄道「樹林駅」正面（鎮前街）出口より左に進み、徒歩約8分で到着（SHOWTIME シネマ横）

新北市眷村文化園區—空軍三重一村



- 🕒 10:00-22:00
- 💰 Free
- ☎ 02-2976-8725
- 📍 新北市三重区正義南路86 巷
- 🚉 MRT「中和新蘆線 - 迴龍線」に乗りし、「台北橋」で下車後、徒歩で文化南路→福德南路→正義南路86 巷を進みます。

新板アートギャラリー



- 🕒 09:00-17:00
- 💰 Free
- ☎ 02-2950-6606
- 📍 新北市板橋区漢城東路166号3階
- 🚉 MRTパナム線「板橋駅」3A出口を出て、板橋駅1階東側から仙民街を直進し、漢城東路を右折して徒歩7分程度です。